

平成29年度第3回家庭教育学級

2017年12月16日
一般社団法人ペガサス
木村志義

『こころの多様さってなんだろう？』

1. 発達障害とは
 - (1) 種類と特徴
 - (2) 先天？後天？遺伝？
 - (3) 接し方について(現在接している、成人発達障害の人から逆算して)
2. ペガサスを立ち上げた理由
3. ペガサスでの取り組み
4. これからについて

以上

ツイート


いいね!

シェア

G+

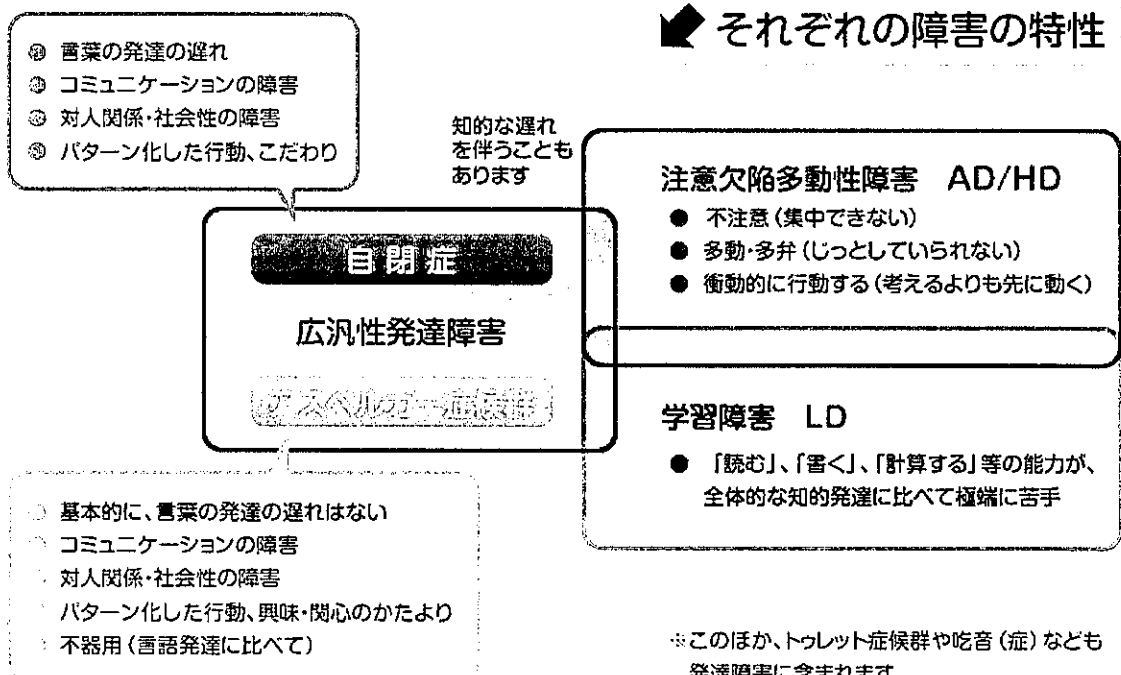
- 理解する **発達障害って、なんだろう?**
- 気づく **気になる行動・反応はありますか?**
- 配慮する **発達障害の人に接するとき**
- 相談する **適切な教育につなげるために**

理解する **発達障害って、なんだろう?**



発達障害は、**脳機能の発達が関係する障害**です。発達障害がある人は、**コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手**です。また、その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。それが、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障害によるものだ**と理解すれば**、周囲の人の接し方も変わってくるのではないのでしょうか。

ここでは、発達障害のある人を理解するために、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など、**主な発達障害の特徴**を紹介します。なお、発達障害は、複数の障害が重なって現われることもありますし、障害の程度や年齢（発達段階）、生活環境などによっても症状は違ってきます。発達障害は多様であることをご理解ください。

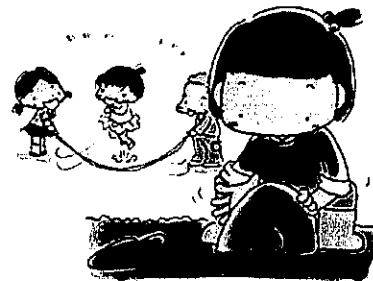


1 広汎性発達障害

コミュニケーション能力や社会性に関連する脳の領域に関係する発達障害の総称です。自閉症、アスペルガー症候群のほか、レット症候群、小児期崩壊性障害、特定不能の広汎性発達障害を含みます。

自閉症

自閉症は、「**言葉の発達の遅れ**」「**コミュニケーションの障害**」「**対人関係・社会性の障害**」「**パターン化した行動、こだわり**」などの特徴をもつ障害です。最近では、自閉症スペクトラムと呼ばれることもあります。



Aちゃんの例

自閉症のAちゃんは、急に予定が変わったり、初めての場所に行ったりすると不安になり、動けなくなることがよくあります。そんなとき、周りの人が促すと、余計に不安が高まって突然大きな声を出してしまうことがあります。周りの人から、「どうしてそんなに不安になるのか分からないので、何をしてあげたらよいか分からない」と言われてしまいます。でも、よく知っている場所では、一生懸命、活動に取り組むことができます。

- ▶ 政府インターネットテレビ「「自閉症」を知ってください」

アスペルガー症候群

アスペルガー症候群は広い意味での「自閉症」に含まれる一つのタイプで、「**コミュニケーションの障害**」「**対人関係・社会性の障害**」「**パターン化した行動、興味・関心のかたより**」があります。自閉症のように、幼児期に言葉の発達の遅れがないため、障害があることが分かりにくいのですが、成長とともに不器用さがはっきりすることが特徴です。

Bくんの例

友だちと話しているときに、自分のことばかり話してしまって、相手の人にはっきりと「もう終わりにしてください」と言われないと、止まらないことがよくあります。周りの人から「相手の気持ちが分からない自分勝手にわがままな子」と言われてしまいます。でも、大好きな電車のことになると専門家顔負けの知識をもって、友だちに感心されます。

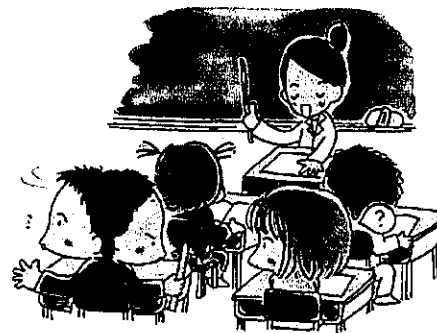


2 注意欠陥多動性障害 (AD/HD)

注意欠陥多動性障害 (AD/HD : Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder) は、「**集中できない (不注意)**」「**じっとしてられない (多動・多弁)**」「**考えるよりも先に動く (衝動的な行動)**」などを特徴する発達障害です。

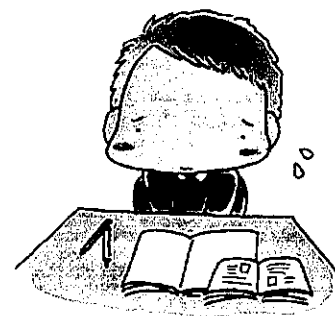
Cさんの例

AD/HDのCさんは大事な仕事の予定を忘れたり、大切な書類を置き忘れたりすることがよくあります。周囲の人にはあきれられ、「何回言っても忘れてしまう人」と言われてしまいます。でも、気配り名人で、困っている人がいればだれよりも早く気づいて手助けすることができます。



3 学習障害 (LD)

学習障害 (LD : Learning DisordersまたはLearning Disabilities) とは、全般的な知的発達に遅れはないのに、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなどの特定の能力を学んだり、行ったりすることに著しい困難を示すさまざまな状態をいいます。



Dさんの例

会議で大事なことを忘れまいとメモをとりますが、本当はメモをとることが苦手なので、書くことに必死になりすぎて、会議の内容が分からなくなることがあります。後で、会議の内容を周りの人に聞くので、「もっと要領よくメモをとればいいのに」と言われてしまいます。でも、苦手なことを少しでも楽にできるように、ボイスレコーダーを使いこなしたりと、ほかの方法を取り入れる工夫をすることができます。

4 トウレット症候群

トウレット症候群 (TS : Tourette's Syndrome) は、多種類の運動チック (突然に起こる素早い運動の繰り返し) と1つ以上の音声チック (運動チックと同様の特徴を持つ発声) が1年以上にわたり続く重症なチック障害で、このような運動や発声を、本人はそうするつもりがないのに行ってしまうのが特徴です。

Eさんの例

Eさんは授業中、自分の意思に反して突然大きな声をあげたり、首を何度も振る動作をしてしまいます。そのため学校の友達には「落ち着きがなく迷惑なクラスメート」と言われてしまいます。こういった症状が出てしまうことが、障害によるものであることを、みんなに理解してもらいたいと思っています。

5 吃音 (症)

吃音 (Stuttering) とは、音の繰り返し、ひき伸ばし、言葉を出せずに間があいてしまうなど、一般に「どもる」と言われる話し方の障害です。幼児・児童期に出始めるタイプ (発達性吃音) がほとんどで、大半は自然に症状が消失したり軽くなったりします。しかし、青年・成

人期まで持続したり、青年期から目立つようになる人や、自分の名前が言えなかったり、電話で話せなくて悩む人もいます。

Fくんの例

Fくんは会話をしていると、「きききききのう・・・」と単語の一部を何度も繰り返したり、つかえてすぐに返事ができないことがあるので、友人から笑われます。「ゆっくり話さない」と言われて、そうしようとするともますます話せなくなります。これが障害によるものであることを、みんなに理解してもらえるといいなとは思いますが、恥ずかしいので言えません。

▶ 資料：☐ 『発達障害の理解のために』（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部） [PDF] 📄

📅 4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。

2007年12月の国連総会において、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取組を進めるため、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」（World Autism Awareness Day）とすることが決議されました。

日本でも、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日までの1週間を「発達障害啓発週間」として、自閉症をはじめとする発達障害について広く啓発する活動を行っています。

週間中は、シンポジウムの開催や全国のランドマークのブルーライトアップなどの活動を行っています。

皆さんも、世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間をきっかけに、自閉症をはじめとする発達障害についての知識・理解を深めてみませんか。

▶ 世界自閉症啓発デーについて詳しくはこちら
「世界自閉症啓発デー」日本実行委員会公式サイト

理解する ～発達障害って何だろう?～ | 気づく ～気になる行動はありませんか～
配慮する ～一人一人の特性を理解しよう～ | 相談する ～適切な療育につなげるために～





家庭教育委員会 2017年度テーマ 「共育！協育！こどもの笑顔のために」

平成 29 年度第 3 回家庭教育学級 実施報告

『こころの多様さってなんだろう？～発達障害学習会～』

第3回家庭教育学級「こころの多様さってなんだろう？～発達障害学習会～」が12月16日(土)に開催されました。講師に一般社団法人ペガサス代表理事の木村志義さんをお迎えし、ご自身の経験や具体的な例を交えながら、発達障害についてご講演いただきました。世田谷区教育委員会からは、前回に引き続き社会教育指導員の村田紀江先生、本校からは滋野卓也副校長先生にお越しいただきました。

今回は18名の方々にご参加いただきました。師走の慌ただしい時期にも関わらず、ご参加くださった皆さま、副校長先生、本当にありがとうございました。

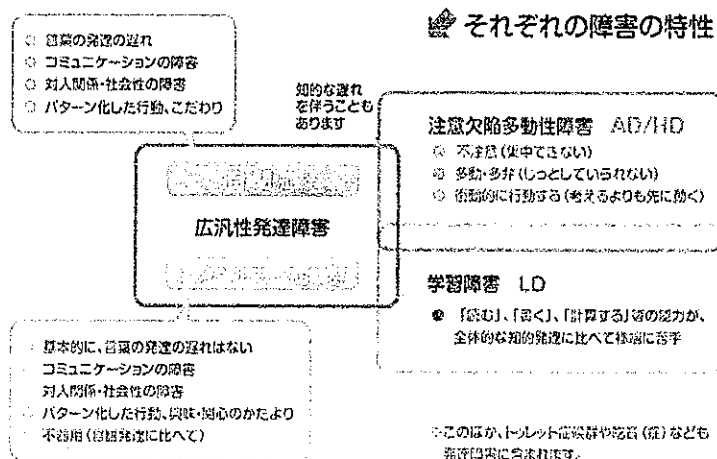


ご参加いただいた方の感想(終了後のアンケートより)

- ・「障害」という言葉から正直マイナスイメージがありましたが、イギリスでの学習障害の例を聞き、考え方が変わりました。
- ・「得意なことを伸ばす！」これを胸に子育てしていきたいと思いました。
- ・障害についてあまり人に聞いたりすることができなかったので、今後は積極的に理解を深めていきたいと思いました。
- ・自己肯定感を持つことは万人が幸せになる種だと思いました。自分のことを知る、周りのサポート、が大切だと思いました。
- ・自分にも我が子にもつながるお話でした。
- ・自分も受け入れ、周りも受け入れることで、互いに住みやすい空間になるのかなと思いました。
- ・明日からの生きるヒントをいただいたと思います。
- ・障害認定された方を仕事で受け入れることがあるので、すでに大人になった人についてのお話だったのは、とても役に立ちました。

発達障害の種類と特徴について

<p>【自閉症】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の変化に弱く、新しいことに挑戦するのは予告と心の準備が必要 ・すべてを言葉通りに理解する ・よく知っていることの繰り返しであれば得意 ・他人に興味を示すことが少ない 	<p>【注意欠陥多動性障害 (AD/HD)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中するのが苦手 ・忍耐が必要な行動は苦手 ・多動多弁 ・よく気が付き、よく気を配る ・アイデアマンで行動力がある ・経営者に多い
<p>【アスペルガー症候群】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを理解することが苦手で空気が読めない ・自分の得意なことにのめりこんで、集中しすぎる傾向がある ・自分が得意なことで貢献できる時に、必要以上にやっってしまう (過剰サービス) ・話に夢中になりやすいので、時間を決めるなどのルールを作ると良い 	<p>【学習障害】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚的で空気を読むのが得意なので、コミュニケーション能力が高い ・聞く、話す、書く、計算などの特定の能力を学んだり行ったりするのが苦手 ・話を聞きながらメモをとるなど、二つのことを同時に行うのが苦手 ・芸術家や表現者に多い



政府広報オンラインより

発達障害学習会を開催して

事例をあげて説明していただき、発達障害について分かりやすく理解することが出来ました。また、発達障害が原因でいじめなどにあい、うつ病などの二次障害となってしまうケースもあるそうです。自分が認められ必要とされているという「自己肯定感」を持つことがとても大切だと感じ、家庭でも自己肯定感が持てるような接し方を心掛け、子ども達と過ごしていきたいと思いました。

家庭教育委員会(1-1 富山、2-1 佐島、3-1 根橋、4-1 高島、5-1 柳、6-1 林)

平成 29 年度家庭教育学級は、今回の第 3 回をもちまして終了いたしました。

家庭教育で学んだことが子ども達の笑顔につながっていければ嬉しいです。

多数のご参加、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

家庭教育委員一同御礼申し上げます。

来年度も、引き続きよろしく願いいたします。